

平和を考える「小中学生作文集 第29集」

平和を考える「小中学生作文集 第29集」 の発行によせて

沼津市
沼津市教育委員会

沼津市は、昭和62年3月20日に、市議会の議決を得て「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。核兵器の廃絶は、世界の人々の共通の願いであり、核戦争の危機に対する市民及び市議会の意思を踏まえて、平和への願いをあらわしたものです。以来、この宣言の趣旨について市民の理解と協力をいただくために、市内の要所にモニュメントを設置するほか、平和映画の上映会や「原爆と人間」のパネル展を開催してまいりました。

この作文集は、市内の小中学生が、授業や各メディア、身近な人の体験談などから、平和について感じたことを作文や詩で表現した作品を掲載したものであり、本年も多くの作品が寄せられ、第29集として発刊しました。

戦後七十年余が経過し、戦時中の実体験を身近に聞く機会は少なくなり、戦争や核兵器の悲惨さを将来の世代にいかにして伝えていくのが重要な課題となっています。このような中、作品からは、自分たちが戦争の実体験者から話を聞き、戦争の恐ろしさを次の世代に語り継ぎ、日本国内だけでなく、世界に対しても被爆国として核兵器の脅威や平和の大切さを訴えていかなければならないという使命感に満ちた姿が伺えました。今後も皆さんが平和への関心を持ち続け、平和な未来を築いていかれることを信じています。

どうか、一人でも多くの方々が、この作文集を読んでくださるようお願いしております。